（財）日本ユニセフ協会奈良県支部

ユニセフ視聴覚ライブラリーリスト

NO	題　名	時間	対象者と内容
1	＊明日を生きる子どもたちに	20分	中学生　高校生　一般
2	＊明日を生きる子どもたちに（子ども版）	20分	小学生高　中学生
3	＊アフリカ危機からの脱出	20分	中学生　高校生　一般
4	＊アンゴラの女性－その日そのくらし－	30分	高校生　一般
5	I am a child ― 働かされる子供たち―	8分	中学生以上 児童労働は、世界中で一斉に非難されているにもかかわらず、未だに世界各地で広く行われている人権の侵害である。その多くは、半奴隷状態のもと、危険な作業現場で酷使されているのだ。 ケニア・タイ・ブラジルで働く子供たちの姿が映し出されるこのビデオは、児童労働の撲滅にむけて力強いメッセージを投げかける。（製作：International Labour Office［国際労働事務局］）※ダビング不可
6	I DREAM OF PEACE	6分	ユニセフは、戦争によって深い傷を負った子どもたちの心を癒すために、感情や恐ろしかった体験を絵や手紙、詩に表現する心理療法を行っている。このビデオでは、内戦の犠牲になった旧ユーゴの子どもたちの描いた絵を紹介することにより、ひとりひとりの苦しみを証言し、戦争に抗議し、かれらの夢を応援している。（英語版）（1994年製作）
7	＊いのちの水	12分	小学生（高学年）　中学生　高校生　一般 安全な水やトイレが使えないことは、多くの子どもたちの命に影響を及ぼす。世界の水や衛生の現状とともに、ユニセフが支援を行う国の一つ、マリ共和国で、村に井戸がつくられ、井戸によって変わっていくマリの人々の生活を伝えている。現地でのユニセフの支援活動の様子もわかる。（2008年製作）
8	カンボジアの子どもと未来 ―教育と識字プロジェクト―	15分	小学生（高学年）　中学生　高校生　一般 1998年にようやく戦争が終わったカンボジアでは、特に農村部で保健サービスがない、安全な水が手に入らない、栄養が十分でないなどさまざまな理由から子どもたちの健康や命が脅かされています。教育を広め、子どもたちの生活をよくするため、ユニセフが行っているカンボジアでの教育や大人への識字教育プロジェクトを紹介する。（2000年製作）
9	グッドニュースは水 ― ナイジェリア―	30分	中学生　高校生　一般 ナイジェリアのイモ州の農村を舞台に女性保健員の保健・衛生教育活動とユニセフの給水事業がどのように展開されているかを紹介する。人びとが清潔な水の必要性について少しずつ理解し、水を確保することで生活がいかに変化していくかが描かれている。（1986年製作）
10	くらしに生かす文字	12分	小学生高学年以上 1990年は国際識字年。子どもと母親の生活改善のために基礎教育の充実は欠かせないものである。バングラデシュの貧しい人たちを対象とした識字学級、ネパールでの絵を使った保健知識の普及、グアテマラの女性の共同組合が進める収入向上と識字学級、ケニアの女性のための職業訓練センターの活動を例に、ユニセフが地域住民と協力してすすめる教育と生活改善の事業をまとめたもの。（1990年製作）
11	子どもたちこそ明日の世界	10分	小学生高学年以上 世界が対立から和解へ向かい始めた1990年、世界の指導者が集う「子どものための世界サミット」が9月に国連本部で開催された。1日に死亡している約4万人の子どもの命を守るために話し合い、実行することを約束する機会である。明日の世界の主役である子どもたちにむけて、地域の平和にむけて、「子どものための世界サミット」の成功にむけて製作されたビデオ。（この作品は1990年の製作で、内容、数字等は当時のもの）
12	子どもたちへのライフライン	20分	中学生　高校生　一般 ユニセフの特色のひとつは協力事業に必要な機材や物資を適切に供給することができる点である。その中心となっているユニパック（ユニセフ物資調達・集積センター）からタンザニアに送られる医薬品を例に物資供給の役割を考える。（1988年製作）

NO	題　名	時間	対象者と内容
13	子どもと武力紛争 ―世界から子どもの兵士をなくそう― 12分		中学生　高校生　一般 現在でも世界各地では宗教や民族の対立から武力紛争が続いている。30万人もの子どもが兵士として武力紛争にかりだされ、体や心に深い傷を負っている。こうした子どもたちの状況を伝え、子どもたちを武力紛争に巻きこまれないために何ができるのかを呼びかける。(1999年製作) ムービーを見る
14	子どもにどんな地球を残しますか	55分	高校生　一般 (1)大気汚染、(2)水、(3)移動(難民)、(4)負債、(5)人口増加、(6)私たちの選択、以上6つのテーマに沿って子どもをとりまく現状と問題点とその解決策を提案している。次代を引き継ぐ子どもたちに私たちはどんな地球を残すことができるのか？　全体を見る時間がない時には、関心のあるテーマだけを取り出して教材化することも可能。(1992年製作)
15	子どもの権利	16分	中学生以上 1990年9月2日に「子どもの権利条約」が国際条約として発効した。しかしながら、多くの国が子どものニーズを無視しているのが現状である。労働、虐待に苦しむ子ども、また戦時下の子どもの現状は条約で定められた権利が守られていないことを教えてくれる。そして、悲しい現実と「子どもの権利条約」で決められた新しい秩序とのギャップをうめる努力を、国際社会に訴えている。(1992年製作)
16	子どもの権利を買わないで ―プンとミーチャのものがたり―	15分	小学生　中学生　高校生　一般 山村に住んでいた女の子プンは都会に働きにでかけ、「もっとお金になる仕事を紹介してやろう」と言われ、何も知らずに売春宿に連れていかれてしまう。そこでプンを待ち受けていたのは…。子どもの基本的人権の最も深刻な侵害である「子どもの商業的性的搾取」(子どもの性をお金で買って、その心と体を傷つける行為)問題を分かりやすく紹介した作品。(2001年製作) ムービーを見る
17	特集 子どものための世界サミット	30分	中学生　高校生　一般 1990年9月29日・30日に、世界の首脳が国連総会議場に集まって「子どものための世界サミット」を開催した。サミットでどのようなことが話し合われたのかを収録。世界サミットの雰囲気、討議のようすや内容がまとめられていて、見る者にその臨場感が伝わってくる。(1991年製作)
18	＊この世界に生きる子どもたち	15分	小学生　中学生　高校生　一般 今日でも世界では厳しい状況で暮らすこどもたちがたくさんいます。女子教育、少年兵の社会復帰、HIV/AIDSばどこどもが直面する現実とユニセフの子どもを守る取組みを紹介しています。本ビデオは『ユニセフと地球の友だち』(上記)と併せて視聴するとより効果的です。(2006年製作)
19	コロンビアにおける 子ども健康革命	20分	中学生　高校生　一般 1984年、コロンビア政府は、ユニセフのすすめる子ども健康革命の第一弾として、3回にわたる全国予防接種デーを設けた。12万人のボランティアと国内のマスコミ、教会、軍隊まで動員してのキャンペーンの模様を紹介する。
20	サラ　すてきなおくりもの	17分	小学校高学年以上 このビデオは東南アフリカ地域で、ユニセフの女の子に対する支援プログラムのひとつとして実際に使われているもの。サラは来年から中学に通うことを楽しみにしていた。ところがお金がないためにもう学校へやることはできないと言われてしまう。サラは学校へ行きたい一心で、学校で借りた本をヒントに、あるすてきなことを思いつく。その思いつきとはいったい…。(1997年製作)
21	341	13分	中学生以上 1990年9月30日に「子どものための世界サミット」会場で上映されたもの。タイトルの「341」とは上映時間の13分間に死亡している子どもの数である。この『静かな緊急事態』に対する対策を、参加した各国首脳と共に実現に向けて行動を開始しようと呼びかけている。(1991年製作)
22	＊すばらしい機械ユニセフ	10分	小学生

NO	題　名	時間	対象者と内容
23	すべての子どもたちのために ―1枚のユニセフカードから―	12分	幼稚園児以上 ユニセフの民間募金の主要な手段として、世界中で使われているユニセフ・グリーティング・カードの第一号は1947年、旧チェコスロバキアの小学生のイトカ・サムコーバちゃん（当時7歳）がユニセフの救援へのお礼として描いた「平和な国の幸せ」という題の絵。ユニセフ・カードの始まりとその役割をやさしく楽しくまとめたアニメーション。（1992年改訂）
24	すべての人にきれいな水を ―ネパールからの報告―	17分	小学生高学年以上 ヒマラヤ山脈のふところに抱かれたようなネパール。ここに暮らす人びとの悩みは安全な飲料水の確保である。水のために多くの時間と労力が必要とされ、その仕事は女性と子どもにかかっている。ネパール中央部のカルカ村とハンディコーラ村、さらに低地のパルサ村での給水と衛生設備の事業を紹介。（1993年製作）
25	＊世界子供白書1993	13分	中学生　高校生　一般
26	＊世界子供白書1997	17分	中学生　高校生　一般
27	＊世界子供白書1998	15分	中学生　高校生　一般
28	＊世界子供白書1999	15分	中学生　高校生　一般
29	世界子供白書2000	13分	中学生以上 「子どもの権利条約」の実現をめぐって過去10年に実現した前進や今後の課題についての報告。インドのストリートチルドレンを保護するプロジェクトや、ウガンダでエイズ問題に取り組んでいる若者たちなどのようすを通じ、貧困・教育・紛争・エイズに焦点をあてて取り上げている。（1999年製作）
30	世界子供白書2001	7分	中学生以上 子どもたちが出生から最初の3年間をどのように過ごすか、それはその後の子ども時代、青年時代がどのようなものになるかに大きな影響を与える。「2001年世界子供白書」では、ゼロ歳から3歳までの幼い子どもたちに焦点をあて、紛争や貧困、HIV/エイズの流行など、さまざまな困難の状況の下で、子どもたちの生存や発達を守るために格闘している親たちや地域のケアワーカーたちの毎日を紹介しつつ、幼い子どものケアの重要性を訴えている。（2000年製作）
31	世界子供白書2002	10分	中学生以上 1990年の「子どものための世界サミット」から11年が経過。この「2002年世界子供白書」では、リーダーシップをテーマに世界の指導者達による子どもの生活改善のためのコミットメントと行動状況を報告。‘Say Yes for Children’ キャンペーンや国連子ども特別総会に注目しながら、平和、健康、尊厳を中心とするこれからの「子どもの権利」確保への努力を紹介。（2002年製作）
32	世界子供白書2003	7分	中学生以上 2002年5月、ニューヨークの国連本部で開催された「国連子ども特別総会」に、世界中から多くの子どもたちが集まった。この会議に象徴されるように、
33	世界子供白書2004	14分	中学生以上 2004年のテーマは「女子教育」。女の子が教育を受けることで、社会がどのように変わるのか、女の子の教育がもたらす恩恵についてまとめている。また、アフガニスタンにおける女子教育を広めるための活動についても紹介している。（2004年製作）
34	世界子供白書2005	17分	中学生以上 2005年のテーマは「危機に晒される子どもたち」。「子ども時代」を生きる子どもたちの生命と健康、権利を脅かす3つの脅威－貧困、武力紛争、HIV／エイズ－に焦点をあて、それぞれの問題が子どもたちに及ぼす影響を描きながら解決への道筋を探る。（2005年製作） ムービーを見る

NO	題　名	時間	対象者と内容
35	世界子供白書2006 ―存在しない子どもたち―	16分	中学生以上 世界には、出生証明制度の不備等からその存在が公に認知されず、生存・発達に不可欠なサービス―予防接種などの基礎保健・医療、安全な水、初等教育など―を受けられない子どもが無数に存在する。なぜ子どもたちは社会から排除され、存在が見えなくなってしまうのか？「存在しない子どもたち」の証言とともに、原因と課題、解決策を探る。(2006年製作) ムービーを見る
36	世界子供白書2007 ～女性と子ども～ ジェンダーの平等がもたらす二重の恩恵	16分	高校生　一般 女性は教育や仕事の機会が制限されるなど、世界のあらゆる地域でジェンダーによる差別が見られる。家庭やコミュニティ、職場、政治の分野でこのような差別をなくし、女性の地位向上と能力育成を実現することにより、女性や子どもにとって、そして社会にとってどのような変化がもたらされるのか。「2007年世界子供白書」は、子どもの権利実現の鍵を握る女性のエンパワーメントに焦点を当てて紹介する。(2007年製作) ムービーを見る
37	世界子供白書2008 ～子どもの生存～	12分	高校生　一般 2008年のテーマは「子どもの生存」。これまで子どもの保健に関する分野では大きな前進が見られたが、世界では未だに多くの子どもの命が失われている。子どもの生存に関わる前進を加速するためには、コミュニティ・パートナーシップ、継続的なケア、保健システムを強化することが重要となる。ビデオ版では、コミュニティを基盤とする保健ケアの取り組みなどの事例も紹介する。(2009年製作) ムービーを見る
38	＊世界子供白書2009 ～妊産婦と新生児の保健～	17分	高校生　一般 喜びで満ちているはずの新しい命の誕生。しかし、世界では毎年50万人以上の女性が、妊娠や出産に関連する原因で命を落としており、その危険は、先進国と開発途上国の間では300倍以上という大きな格差がある。「世界子供白書2009」では、保健センターや助産師の不足、治安といった社会的背景や妊産婦の死亡につながる文化的・伝統的要因、そして母親と新生児を守るためにコミュニティを巻き込んでおこなわれている取組みを紹介する。(2010年製作) ムービーを見る
39	世界の12歳	15分	小学校高学年以上 日本の12歳の子どもたち4人が、バングラデシュ・ガーナ・クロアチア・オーストラリアの子どもたちを訪ね、異文化に触れ、友情を通して相手の国を理解していくドキュメントフィルム。女の子の早婚、労働、紛争、多民族問題など、世界の子どもたちの抱えるさまざまな問題について、自分たちにどんなことができるか考える。(1998年製作)※ダビング不可
40	タムタムとビルの街	12分	幼稚園児　小学生 灰色の空のもとで暮らす北の国(先進工業国)の友だちに青空を、砂漠に住む友だちには雨のプレゼント。子どもたちがお互いの文化を学びあい、平等な立場での協力と助け合いのための事例を素材にしたアニメーション。(1984年製作)
41	だれが守るの地球 ―地球サミット／アジェンダ21―	13分	小学生高学年以上 1992年6月リオデジャネイロで開催された「国連環境会議」で発表されたアジェンダ21は世界の子どもの生存、保護、発達、参加が達成されるよう述べている。このビデオでは子どもの代表としてスズキさんとサイーダさんの発言をとりあげている。ブラジルのファベイラの生活改善、滋賀県栗東町立大宝小学校の環境授業、ケニアの植林授業で子どもの参加をよびかける。(1993年製作)
42	小さな涙 ―サラエボの子どもたち―	16分	中学生以上 1992年4月から3年半にわたり、戦火にさらされたサラエボの子どもたち。両足を被弾したエミナとアディス、両親の爆死を目撃したサンジン、レイラとベリンの5人の子どもたちが当時のようすを私たちに語りかける。身体に傷を受けなかった子どもも心に深い傷を負って生きている。(この作品は1993年の製作で、内容および数字等は当時のもの)

NO	題　名	時間	対象者と内容
43	中国西部の人びとのくらし	25分	中学生　高校生　一般 中国でよく話題になるのは大陸東岸の都市部。長城沿いに西へ5000キロ、そこにはあまり知られていない、もうひとつの中国がある。青海省、甘粛省、貴州省の農村で生きる人びとのふだんの暮らしとその中での問題点をまとめている。医療、学校教育、水、所得向上プロジェクト、成人識字、人口、予防接種事業など地域の人びとの取り組みと同時に世界的な支援も期待されている。（1990年製作）
44	手作りの未来 ―ネパールからのレポート―	26分	小学生高学年以上 このビデオではネパールの2つのコミュニティを紹介している。ひとつは紙づくりの村ナグリバン。そしてその紙を加工してグリーティングカードをつくっているバクタプールの町である。1枚の手工芸品のカードに込められている、人びとの目にふれることのなかった多くのメッセージがこのビデオを通して伝わってくる。（1992年製作）
45	＊都市スラムの解放	40分	高校生　一般
46	＊ともに生きる世界	21分	中学生　高校生　一般
47	＊なぜユニセフ募金なの？	10分	幼稚園児　小学生 なに不自由なく暮らしている私たち。もし、電気・水道・病院・食べ物がなくなったらどうだろう。途上国に暮らさなければならない自分たちのことを想像してユニセフへの協力をよびかけるアニメーション。（2010年画像修復版製作）
48	＊パクハツなんかしてやるもんか	10分	幼稚園児　小学生
49	バングラデシュは今 ―未来にかけるユニセフの活動―	16分	中学生　高校生　一般 パキスタンからの分離独立以来、自然災害と政治不安が重なって経済発展が遅れた大変厳しい状況下にあるバングラデシュの子どもたちと女性。そんな中で予防接種や経口補水塩の急速な普及など、人びとの努力が着実に成果を上げている。このビデオは学校教育、スラムの衛生改善、ヨード添加塩など、ユニセフの支援事業を通してバングラデシュの子どもたちと女性の直面する問題を紹介する。（1997年製作）
50	＊人と木	21分	中学生　高校生　一般
51	ビハールの新教育事業	20分	高校生　一般 インド人口の半数以上が非識字者。その多くは経済的に貧しい人たちである。特にビハール州は識字率38.5%でインドでも最低の状態。この州のある村で住民、教員、議会、学生、NGOが参加した識字運動が始まった。教育の普及によって社会改善をめざした総合的な人間開発と社会開発の事業である。（この作品は1991年の製作で、内容、数字等は当時のものです）
52	ママ・チャクラ・ボラ ― タンザニアの栄養指導員―	20分	中学生　高校生　一般 多くの開発途上国では、ユニセフの支援でトレーニングを受けたボランティアの栄養指導員が村をまわり、栄養指導を続けている。このフィルムでは、タンザニアでの栄養指導員の活動を通じて、現地の人びとの自助努力の現状をまとめている。（1984年製作）
53	ミーナ　にわとりなんわ	14分	幼稚園児　小学生以上 南アジアは、伝統的な社会慣習によりいろいろな面で女性が不利な立場に置かれている。このビデオは同地域の女の子に対する特別支援のプログラムの中で使われているもので、親しみやすいアニメーションでごく普通の女の子ミーナの生活とその変化を描くことにより、人びとの意識改革を求めている。 ミーナは学校に行きたくてしかたがないのだが、お父さんは「女の子は学校に行く必要はない」という。そこでミーナはペットのオウムを学校にやり、オウムから数の数えかたを教わる。それがきっかけとなり…。最後にはミーナの両親は彼女も弟と同じように学校に行くべきだと考えを改める。（1996年製作）

NO	題　名	時間	対象者と内容
54	ミーナ　はんぶんこしよう	14分	幼稚園児　小学生以上 「にわとりなんわ」で、やっと弟と同じように学校に通えるようになったミーナだが、毎日の食事は弟よりずっと少なく、家の仕事はずっときつい。そのことを当たり前と思っていた家族が、ミーナと弟が仕事をまる1日交換することによって初めてその不平等に気づくまでを描く。(1996年製作)
55	＊水を求めて	15分	中学生　高校生　一般
56	村が変わった！ ―ベトナム女性の収入向上活動―	12分	中学生以上 予防接種や母乳育児の大切さ、離乳食の調理法などの知識があれば、子どもの健康や栄養状況はたいていの場合改善できる。このビデオでは、「知識」を伝えると同時に家計の収入を向上させるためのユニセフの事業(女性への少額融資プロジェクト)を、ベトナム山間部の事例をもとに、現地での声を中心に紹介している。(1997年製作)
57	ユニセフ・イン・ベトナム	15分	中学生以上 市場開放政策の進むベトナムでは、都市の発展につれて貧富の差が激しくなり、子どもや貧しい農村などに対する福祉が低下している。貧しい地域の子どもを中心に生活向上の支援をしているユニセフの活動を紹介する。(1994年ユニセフベトナム事務所製作)
58	ユニセフ活動のかなめ コミュニケーション	22分	高校生　一般 ユニセフや各国政府は様ざまな方法でコミュニティや母親に対して子どもの命を守り、発育を促進するための技術や知識を伝える努力をしている。各国で放映されているテレビスポットや各種のイベントも紹介しながらコミュニケーションの重要性を解説している。(1989年製作)
59	ユニセフその40年のあゆみ	30分	中学生　高校生　一般 1986年12月にユニセフは創設40周年を迎えた。創設当時より一貫して、子どもたちの生命を守り、発育を促進するための活動を続けてきた。初期の戦災児童への救済活動から1980年代の子ども健康革命に至るまでの活動の歴史を紹介する。(1986年製作)
60	ユニセフその40年のあゆみ(子ども版)	20分	小学生　中学生 1986年12月にユニセフは創設40周年を迎えた。創設当時より一貫して、子どもたちの生命を守り、発育を促進するための活動を続けてきた。初期の戦災児童への救済活動から1980年代の子ども健康革命に至るまでの活動の歴史を紹介する。(1986年製作)
61	ユニセフってなあに？	23分	小学生中学生以上 ユニセフの仕事についてわかりやすくまとめたビデオ。日本とイギリスの子どもたちが、自分たちと開発途上国に生きる友だちとのかかわりについて、水・栄養・保健・教育・権利などのテーマにそって話し合い、どのように協力していくかを考える。さらに、ユニセフの歩んできた歴史を振り返る。(1994年製作)
62	＊ユニセフと地球のともだち	14分	小学生以上 (1)保健、(2)水、(3)栄養、(4)教育、(5)困難な状況にある子どもの保護、(6)緊急救援の6つを柱としたユニセフの活動を、現地の子どもたちの声や映像を豊富に取り入れながら説明している。また、ユニセフの歴史や日本もかつてユニセフの援助を受けていたことにも触れており、ユニセフや世界の子どもの現状について基礎から学ぶことができる。(2007年改訂) ムービーを見る
63	ヨード欠乏症	8分	中学生以上 海に囲まれた日本では、土や海産物から得られるおかげで「ヨード(ヨウ素)」が不足して病気になる人はいない。そのためあまり知られていないが、世界全体では、約10億の人がヨード欠乏地域に住み、2億人が欠乏のために甲状腺腫にかかっている。世界一のヨード生産国である日本の私たちにできることはないだろうか。(この作品は1992年の製作で、内容および数字等は当時のもの)

NO	題　　名	時間	対象者と内容
64	予防接種にとりくむコロンビア	12分	小学生　中学生 「コロンビアにおける子ども健康革命」を小学生用にまとめたもの。(1984年製作)
65	ラオスの子どもと女性 ―子どもがすこやかに		中学生以上 ラオスの子どもと女性をとりまく状況、さらに、ユニセフがどのような協力活動を展開しているかを、保健・水・教育・女性の活動の4つに分けて、わかりやすく説明したビデオ。村人や助産婦の生の声がもりこまれ、ラオスという国をより身近に感じることができる。(1996年製作)
66	＊私たちをわすれないで	13分	小学生　中学生　高校生　一般